

恐竜化石興味津々

岡山理大 博物館新装 予約制、親子ら見学

岡山理大の「恐竜学博物館」(岡山市北区理大町)が23日、リニューアルオープンした。新型コロナウイルスの影響で予定より2カ月遅れの開館で、待ちわびた親子連れらが早速、新たに加わった恐竜化石の標本などに

岡山理大の「恐竜学博物館」(岡山市北区理大町)が23日、リニューアルオープンした。新型コロナウイルスの影響で予定より2カ月遅れの開館で、待ちわびた親子連れらが早速、新たに加わった恐竜化石の標本などに

博物館は同大がモンゴル・ゴビ砂漠で取り組む古生物化石調査の成果を紹介しており、生物地球学部が入るC2号館1階のメイン施設と、学内3カ所のサテライト展示で構成する。リニューアルでは鳥類に似た小型肉食恐竜ゴビウエナトルの全身骨格や実物大復元画、角竜の一種プロトケラトプスの幼体化石の出土現場を再現した標本などがお目見え。メイン施設の展示を倍増し、化石標本数は計100点を超える。

感染防止のために見学は予約制を導入。家族4人で一番乗りで入館した岡山市の保育園児河原大晴ちゃん(3)は「恐竜が大好き。とても楽しい」と興味津々の様子で見て回っていた。

入館無料。予約は希望日時(日、月曜除く)などをメールで受け付け、1時間当たりの入館者を10人未満にして受け入れる。詳細は同館ホームページで。

(平松隆)

さんデンに動画



プロトケラトプスの全身骨格標本などを見学する入館者



新たにお目見えした恐竜の実物大復元画や、足跡や歩幅の大きさを体験できるコーナー